赤字…県計画との調和　青字…国交付金を考慮した変更　橙字…評価指標の数値等の時点修正　緑字…その他変更（現状取組に合わせた変更等）

新旧対照表（第２期花巻市国土強靱化地域計画　計画書）

計画書	新	旧
	第２期花巻市国土強靱化地域計画 令和７年４月 （令和８年３月一部変更） 花　巻　市 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　11 住み続けられるまちづくりを 花巻市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。	第２期花巻市国土強靱化地域計画 令和７年４月 花　巻　市 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　11 住み続けられるまちづくりを 花巻市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

<table>
<tr><td>２ページ</td><td>

第２章　基本的な考え方

国土強靭化基本計画及び第３期岩手県国土強靭化地域計画を踏まえ、本計画の「基本目標」、「事前に備えるべき目標」及び「基本的な方針」を次のとおり定めます。

（略）

２　事前に備えるべき目標

いかなる大規模自然災害が発生しようとも

(1) 直接死を最大限防ぐ
(2) 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ
(3) 必要不可欠な行政機能を確保する
(4) 地域の経済活動を機能不全に陥らせない
(5) 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる
(6) 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靭な姿で復興できる条件を整備する

</td><td>

第２章　基本的な考え方

国土強靭化基本計画及び第２期岩手県国土強靭化地域計画を踏まえ、本計画の「基本目標」、「事前に備えるべき目標」及び「基本的な方針」を次のとおり定めます。

（略）

２　事前に備えるべき目標

いかなる大規模自然災害が発生しようとも

(1) 人命の保護を最大限に確保する
(2) 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ
(3) 必要不可欠な行政機能を確保する
(4) 地域の経済活動を機能不全に陥らせない
(5) ライフライン、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期復旧を図る
(6) 制御不能な二次災害を発生させない
(7) 地域社会・経済を迅速に再建・回復する

</td></tr>
<tr><td>４ページ</td><td>

第３章　想定するリスク

１　花巻市の地域特性

（略）

(3) 人口

花巻市は、平成 18 年１月に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の１市３町が合併して誕生しました。合併時（平成 18 年１月末時点）の住民登録人口は、106,275 人でした。その後人口減少が進み、令和７年 12 月末時点の住民登録人口は、88,618 人となっており、少子高齢化も進行しています。

（略）

</td><td>

第３章　想定するリスク

１　花巻市の地域特性

（略）

(3) 人口

花巻市は、平成 18 年１月に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の１市３町が合併して誕生しました。合併時（平成 18 年１月末時点）の住民登録人口は、106,275 人でした。その後人口減少が進み、令和６年 12 月末時点の住民登録人口は、89,861 人となっており、少子高齢化も進行しています。

（略）

</td></tr>
<tr><td>５ページ</td><td>

３　起きてはならない最悪の事態の設定

国の国土強靭化基本計画や第３期岩手県国土強靭化地域計画を参考に、前述で対象とした自然災害や地域特性等を踏まえ、６つの事前に備えるべき目標に対する「起きてはならない最悪の事態」を設定しました。

目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、直接死を最大限防ぐ	
1	1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む）
2	1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生

</td><td>

３　起きてはならない最悪の事態の設定

国の国土強靭化基本計画や第２期岩手県国土強靭化地域計画を参考に、前述で対象とした自然災害や地域特性等を踏まえ、７つの事前に備えるべき目標に対する「起きてはならない最悪の事態」を設定しました。

目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、人命の保護を最大限に確保する	
1	1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生
2	1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生

</td></tr>
</table>

	3	1-3　土砂災害等による多数の死傷者の発生
	4	1-4　暴風雪及び豪雪による交通途絶等に伴う死傷者の発生
	5	1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止等の情報伝達機能の低下や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生
６ページ		
	目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ	
	6	2-1　被災地での食料・飲水等、生命に関わる物資供給の長期停止
	7	2-2　多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生
	8	2-3　消防等の被災・エネルギー途絶等による救助・救急活動の絶対的不足
	9	2-4　被災等に伴う避難所の不足
	10	2-5　被災地における感染症等の大規模発生
	目標３　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、必要不可欠な行政機能を確保する	
	11	3-1　行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下
	目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない	
	12	4-1　サプライチェーンの寸断等による企業活動等の停滞
	13	4-2　農業の停滞
	14	4-3　農地・森林等の荒廃による被害の拡大
	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる	
	15	5-1　電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止
	16	5-2　上水道等の長時間にわたる供給停止
	17	5-3　汚水処理施設の長時間にわたる機能停止
	18	5-4　市外との基幹交通及び地域ネットワークの機能停止
	19	5-5　電話、携帯電話など情報通信機能の麻痺・長期停止
	（削除）	
	目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済が迅速かつ従前より強靭な姿で復興できる条件を整備する	
	20	6-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	21	6-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	22	6-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態

	3	1-3　土砂災害等による多数の死傷者の発生
	4	1-4　暴風雪及び豪雪による交通途絶等に伴う死傷者の発生
	5	1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生
	目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ	
	6	2-1　被災地での食料・飲水等、生命に関わる物資供給の長期停止
	7	2-2　多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生
	8	2-3　消防等の被災・エネルギー途絶による救助・救急活動の絶対的不足
	9	2-4　被災等に伴う避難所の不足
	10	2-5　被災地における感染症等の大規模発生
	目標３　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、必要不可欠な行政機能を確保する	
	11	3-1　行政機関の職員・施設等被災による行政機能の大幅な低下
	目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない	
	12	4-1　サプライチェーンの寸断等による企業活動等の停滞
	13	4-2　農業の停滞
	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、ライフライン、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期復旧を図る	
	14	5-1　電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止
	15	5-2　上水道等の長時間にわたる供給停止
	16	5-3　汚水処理施設の長時間にわたる機能停止
	17	5-4　市外との基幹交通及び地域ネットワークの機能停止
	18	5-5　電話、携帯電話など情報通信機能の麻痺・長期停止
	目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、制御不能な二次災害を発生させない	
	19	6-1　ため池、ダム、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生
	20	6-2　農地・森林等の荒廃による被害の拡大
	目標７　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済を迅速に再建・回復する	
	21	7-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	22	7-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	23	7-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態

7ページ	**４　施策分野の設定** （略） （1）個別的施策分野 （略） ⑤地域づくり分野 基本__政策 5-1　多様な主体による参画・協働の促進 ⑥行政経営分野 基本__政策 6-1　効率的で質の高い行政運営 基本__政策 6-2　持続可能で健全な財政運営 （略）	**４　施策分野の設定** （略） （1）個別的施策分野 （略） ⑤地域づくり分野 基本的政策 5-1　多様な主体による参画・協働の促進 ⑥行政経営分野 基本的政策 6-1　効率的で質の高い行政運営 基本的政策 6-2　持続可能で健全な財政運営 （略）
8ページ	**第４章　脆弱性評価** **（略）** **３　脆弱性評価結果の概要** 評価結果の概要については、下記のとおりです。 なお、評価結果については、別紙１「脆弱性評価の結果」のとおりです。 **目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、直接死を最大限防ぐ** **最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む）** ・住宅や大規模建築物、学校施設（学校給食施設を含む）、社会福祉施設等の耐震化を一層促進する必要があります。 ・適切な管理が行われていない空き家や老朽化したブロック塀については、所有者に改善を促す必要があります。また、がけ地の崩壊等により市民の生命または身体に著しい危害を及ぼすおそれのある危険住宅について、移転を促進する必要があります。 ・住宅用火災警報器の未設置世帯への普及啓発や、維持管理の周知を行うほか、林野火災警報を適切に運用していく必要があります。 **最悪の事態 1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生** ・河川改修等の治水対策について引き続き国や県に要望していくとともに、橋梁等の河川関連施設の老朽化対策を進める必要があります。また、洪水や内水に対するハザードマップや避難情報の判断、伝達方法などマニュアルを更新していく必要があります。 ・ため池ハザードマップの作成や河川・土砂災害対策関連施設等の老朽化対策を推進する必要があります。	**第４章　脆弱性評価** （略） **３　脆弱性評価結果の概要** 評価結果の概要については、下記のとおりです。 なお、評価結果については、別紙１「脆弱性評価の結果」のとおりです。 **目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、人命の保護を最大限に確保する** **最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生** ・住宅や社会福祉施設等の耐震化を一層促進する必要があります。 **最悪の事態 1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生** ・河川改修等の治水対策について引き続き国や県に要望していくとともに、橋梁等の老朽化対策を進める必要があります。また、洪水に対するハザードマップや避難情報の判断、伝達方法などマニュアルを更新していく必要があります。

９ページ	（略） **最悪の事態 1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止等の情報伝達機能の低下や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生** ・国や県などの関係機関との迅速・確実な情報伝達体制を強化するとともに、緊急速報メールやホームページ、ＳＮＳ、コミュニティＦＭなど複数の情報伝達手段を活用し、住民に迅速かつ効果的な情報提供を行う必要があります。 ・市が実施する各種防災訓練のほか、自主防災組織の活動や学校における防災教育の充実を図る必要があります。 **目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** （略） **最悪の事態 2-3　消防等の被災・エネルギー途絶等による救助・救急活動の絶対的不足** ・消防施設等の整備を促進するほか、災害時、救援活動等に必要な燃料を確保する必要があります。 ・消防団員の確保のため、広報活動を行うほか、機能別消防団員数の維持、消防団協力事業所等の認定等の取り組みを促進する必要があります。 ・緊急消防援助隊などの応援隊のスムーズな受け入れ態勢を構築するため、受援計画の見直しを図る必要があります。	（略） **最悪の事態 1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生** ・国や県などの関係機関との迅速・確実な情報伝達体制を強化するとともに、緊急速報メールやホームページ、ＳＮＳ、コミュニティＦＭなど複数の情報伝達手段を活用し、住民に迅速かつ効果的な情報提供を行う必要があります。 ・市が実施する各種防災訓練のほか、自主防災組織の活動や学校における防災教育の充実を図る必要があります。 **目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** （略） **最悪の事態 2-3　消防等の被災・エネルギー途絶等による救助・救急活動の絶対的不足** ・消防施設等の整備を促進する必要があります。また、消防団員の確保のための広報活動を行う必要があるほか、機能別消防団員数の維持、消防団協力事業所等の認定等の取り組みを促進する必要があります。
１０ページ	**最悪の事態 2-4　被災等に伴う避難所等の不足** ・指定緊急避難場所や指定避難所の指定場所について継続的に周知をしていく必要があるほか、指定緊急避難場所や指定避難所の老朽化対策、機能確保を進める必要があります。また、避難所等へのスムーズな受け入れや避難所等での良好な生活環境の確保が可能となるよう取り組む必要があります。 （略） **目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない** （略）	**最悪の事態 2-4　被災等に伴う避難所等の不足** ・指定緊急避難場所、指定避難所の周知を強化していく必要があるほか、指定緊急避難場所や指定避難所の老朽化対策、機能確保を進める必要があります。また、避難所等へのスムーズな受け入れや避難所等での良好な生活環境の確保が可能となるよう取り組む必要があります。 （略） **目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない** （略）

	最悪の事態 4-3　農地・森林等の荒廃による被害の拡大 ・治山対策、農業水利施設の保全管理、森林整備、鳥獣被害防止対策等を強化していく必要があります。	
	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる （略）	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、＿＿＿＿＿＿＿＿ライフライン、＿＿＿＿＿＿交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期復旧を図る （略）
１１ページ	（略） 最悪の事態 5-2　上水道等の長時間にわたる供給停止 （略） ・消防水利不足地域の解消のほか、老朽化している水利の維持管理を計画的に行う必要があります。 最悪の事態 5-3　汚水処理施設の長時間にわたる機能停止 （略） ・浄化槽が適正に維持管理される必要があります。 （略）	（略） 最悪の事態 5-2　上水道等の長時間にわたる供給停止 （略） 最悪の事態 5-3　汚水処理施設の長時間にわたる機能停止 （略） （略）
	（削除）	目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、制御不能な二次災害を発生させない 最悪の事態 6-1　ため池、ダム、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生 ・ため池ハザードマップの作成や河川・土砂災害対策関連施設等の老朽化対策を推進する必要があります。 最悪の事態 6-2　農地・森林等の荒廃による被害の拡大 ・治山対策、農業水利施設の保全管理、森林整備等を強化していく必要があります。
	目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済が迅速かつ従前より強靭な姿で復興できる条件を整備する 最悪の事態 6-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） ・低濃度ＰＣＢ廃棄物の適正処理について県へ適切な対応を求めていく必要があります。	目標７　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済を迅速に再建・回復する 最悪の事態 7-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）

	最悪の事態 6-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 最悪の事態 6-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 ・地域活動の維持や担い手確保のため、コミュニティ会議等地域への支援をしていくとともに、社会的結束を強化する必要があります。	最悪の事態 7-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 最悪の事態 7-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 ・地域活動の維持や担い手確保のため、コミュニティ会議等地域への支援をしていく必要があります。
１２ページ	第５章　脆弱性評価結果に基づく対応方策 （略） １　起きてはならない最悪の事態を回避するための対応方策 目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、直接死を最大限防ぐ 最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む） ◆「耐震性の低い住宅・建築物が倒壊する」ことを回避するための対応方策 （略） ③　学校施設（学校給食施設を含む）の耐震化 （略） ◆「火災の発生に気づかない、逃げ遅れる」ことを回避するための対応方策 （略） ⑨　林野火災警報の適切な運用 最悪の事態 1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生 （略） ◆「浸水地域に要救助者が取り残される」ことを回避するための対応方策 （略） ⑥　内水ハザードマップの作成 ◆「ため池が決壊、または機能不全に陥る」ことを回避するための対応方策 ⑦　ため池ハザードマップの整備	第５章　脆弱性評価結果に基づく対応方策 （略） １　起きてはならない最悪の事態を回避するための対応方策 目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、人命の保護を最大限に確保する 最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生 ◆「耐震性の低い住宅・建築物が倒壊する」ことを回避するための対応方策 （略） ③　学校施設の耐震化 （略） ◆「火災の発生に気づかない、逃げ遅れる」ことを回避するための対応方策 （略） 最悪の事態 1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生 （略） ◆「浸水地域に要救助者が取り残される」ことを回避するための対応方策 （略）
１３ページ	⑧　防災重点ため池の整備・廃止 ◆「ダムが決壊、または機能不全に陥る」ことを回避するための対応方策 ⑨　ダム管理者との連絡体制の強化 ◆「河川・土砂災害対策施設が損壊、または機能不全に陥る」ことを回避するための対応方策 ⑩　河川・土砂災害対策関連施設の老朽化対策	

	（略） 最悪の事態 1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止等の情報伝達機能の低下や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生 （略）	（略） 最悪の事態 1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止＿＿＿＿＿＿＿＿や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生 （略）
１５ページ	目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない （略） 最悪の事態 4-3　農地・森林等の荒廃による被害の拡大 ◆「農地・森林等の荒廃により防災機能が低下する」ことを回避するための対応方策 ①　治山対策 ②　農業・農村の多面的機能の確保 ③　農業水利施設の保全管理 ④　森林整備 ⑤　鳥獣被害防止対策	目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない （略） ＿＿＿＿＿＿＿＿

		① 治山対策 ② 農業・農村の多面的機能の確保 ③ 農業水利施設の保全管理 ④ 森林整備
１７ページ	目標６ いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する 最悪の事態 6-1 災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 ◆「災害廃棄物処理が滞る」ことを回避するための対応方策 （略） ③ ＰＣＢ早期処理のための対策 最悪の事態 6-2 復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 最悪の事態 6-3 地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）	目標７ いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済を迅速に再建・回復する 最悪の事態 7-1 災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 ◆「災害廃棄物処理が滞る」ことを回避するための対応方策 （略） 最悪の事態 7-2 復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 最悪の事態 7-3 地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）
１８ページ	２ 施策分野ごとの対応方策 （略） (1) 個別施策分野 １ 「しごと」分野 (1) 農林業の振興 最悪の事態 1-2 異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生 ⑦ ため池ハザードマップの整備 ⑧ 防災重点ため池の整備・廃止 （略） 最悪の事態 4-3 農地・森林等の荒廃による被害の拡大 （略） ⑤ 鳥獣被害防止対策 ２ 「暮らし」分野 (1) 環境の保全 （略）	２ 施策分野ごとの対応方策 （略） (1) 個別施策分野 １ 「しごと」分野 (1) 農林業の振興 （略） 最悪の事態 6-1 ため池、ダム、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生 ① ため池ハザードマップの整備 ② 防災重点ため池の整備・廃止 最悪の事態 6-2 農地・森林等の荒廃による被害の拡大 （略） ２ 「暮らし」分野 (1) 環境の保全 （略）

	最悪の事態6-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） ③　ＰＣＢ早期処理のための対策 (2) 生活基盤の充実 最悪の事態1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む） （略）	最悪の事態7-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） (2) 生活基盤の充実 最悪の事態1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生 （略）
１９ページ	（略） ⑩　河川・土砂災害対策関連施設の老朽化対策 （略） 最悪の事態6-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）	（略） （略） 最悪の事態6-1　ため池、ダム、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生 ④　河川・土砂災害対策関連施設の老朽化対策（再掲） 最悪の事態7-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）
２０ページ	３　「健康・いのち」分野 （略） (2) 福祉の充実 最悪の事態1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む） （略） (3) 地域防災力の向上 最悪の事態1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む） （略） ⑨　林野火災警報の適切な運用 最悪の事態1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生 （略） ⑥　内水ハザードマップの作成 ⑨　ダム管理者との連絡体制の強化 （略） 最悪の事態1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止等の情報伝達機能の低下や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	３　「健康・いのち」分野 （略） (2) 福祉の充実 最悪の事態1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生 （略） (3) 地域防災力の向上 最悪の事態1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生 （略） 最悪の事態1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生 （略） （略） 最悪の事態1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生

	（略） ＿＿＿

	（略） **〇コミュニティ** （略） 最悪の事態 6-3　①　地域コミュニティへの支援 **２　老朽化対策** **〇各施設の老朽化対策** 最悪の事態 1-2　②　河川関連施設の老朽化対策 最悪の事態 1-2　⑧　防災重点ため池の整備・廃止 最悪の事態 1-3　②　土砂災害対策施設の老朽化対策 最悪の事態 4-3　③　農業水利施設の保全管理 最悪の事態 5-2　②　水道施設の老朽化対策 最悪の事態 5-3　②　下水道施設の老朽化対策 最悪の事態 5-3　④　農業集落排水施設の老朽化対策 最悪の事態 5-4　②　道路施設の老朽化対策	（略） **〇コミュニティ** （略） 最悪の事態 7-3　①　地域づくりへの支援 **２　老朽化対策** **〇各施設の老朽化対策** 最悪の事態 1-2　②　河川関連施設の老朽化対策 最悪の事態 1-3　②　土砂災害対策施設の老朽化対策 最悪の事態 5-2　②　水道施設の老朽化対策 最悪の事態 5-3　②　下水道施設の老朽化対策 最悪の事態 5-3　④　農業集落排水施設の老朽化対策 最悪の事態 5-4　②　道路施設の老朽化対策 最悪の事態 6-1　②　防災重点ため池の整備・廃止 最悪の事態 6-2　③　農業水利施設の保全管理
２４ページ	**第６章　計画の推進と不断の見直し** （略） **〇目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、直接死を最大限防ぐ** （1）　（略） （略） ➡学校施設の大規模改造や長寿命化改良などの老朽化対策のほか、照明器具などの非構造部材を含めた耐震対策を推進します。また、学校給食施設は、施設や調理設備の老朽化で修繕費が増大しており、現在の 10 か所を全て維持するのは財政負担が大きいため、児童生徒数の推移や老朽化対策を踏まえて運営を継続的に検討するとともに、耐震対策を推進します。さらに、社会福祉施設について、未耐震施設の状況や施設設置者等の改修計画等を踏まえつつ、補助事業等の活用により、耐震化を推進します。 ➡住宅や社会福祉施設等の耐震化等を進めるため、空き家対策総合支援事業、住宅・建築物安全ストック形成事業、公営住宅等整備事業、公営住宅等ストック総合改善事業、住宅確保要配慮者専用住宅改修事業を推進します。 **【重要業績評価指標】** ・住宅の耐震化率　79.4%（R6）⇒81.7%（R9） （略）	**第６章　計画の推進と不断の見直し** （略） **〇目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、人命の保護を最大限に確保する** （1）　（略） （略） ➡学校施設の大規模改造や長寿命化改良などの老朽化対策のほか、照明器具などの非構造部材を含めた耐震対策を推進するとともに、社会福祉施設について、未耐震施設の状況や施設設置者等の改修計画等を踏まえつつ、補助事業等の活用により、耐震化を推進します。 ➡住宅や社会福祉施設等の耐震化等を進めるため、空家等対策事業、住宅・建築物安全ストック形成事業、公営住宅等整備事業、公営住宅等ストック総合改善事業、住宅確保要配慮者専用住宅改修事業を推進します。 **【重要業績評価指標】** ・住宅の耐震化率　79.1%（R5）⇒81.7%（R9） （略）
２５ページ	・老朽危険住宅除却費補助件数　2 件（R6）　⇒継続して補助	・老朽危険住宅除却費補助件数　4 件（R5）　⇒継続して補助

	・ブロック塀等安全確保事業費補助件数　7件（R6）　⇒継続して補助 （略） ・住宅用火災警報器の設置率　94.1%（R7）　⇒95.0%（R9）	・ブロック塀等安全確保事業費補助件数　9件（R5）　⇒継続して補助 （略） ・住宅用火災警報器の設置率　93.1%（R5）　⇒95.0%（R9）
	(2) 異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生を回避するため、河川改修等の治水対策について、引き続き国や県に要望していくとともに、河川関連施設の老朽化対策を推進します。また、ため池ハザードマップの作成を進めるとともに、ダム管理者との連絡体制を強化します。 （略） ➡北上川が増水し籠堰都市下水路が北上川へ排水できなくなることによる内水浸水を防ぐために、高田排水ポンプ場を適切に維持管理し計画的に長寿命化対策を進めるほか、内水ハザードマップを作成します。 （略） ➡国の農業水路等長寿命化・防災減災事業の緊急対策により、ため池ハザードマップの作成について推進するとともに、国の農業水路等長寿命化・防災減災事業などを活用し、計画的なため池の維持補修及び廃止を推進します。 ➡迅速な避難のため、ダムの災害時の放流状況等について、引き続きダム管理者との連絡体制を整備し、連絡体制を強化します。	(2) 異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生を回避するため、河川改修等の治水対策について、引き続き国や県に要望していくとともに、河川関連施設の老朽化対策を推進します。 （略） ➡北上川が増水し籠堰都市下水路が北上川へ排水できなくなることによる内水浸水を防ぐために、高田排水ポンプ場を適切に維持管理し計画的に長寿命化対策を進めます。 （略）
	【重要業績評価指標】 （略） ・洪水ハザードマップの作成　北上川・猿ヶ石川（H29作成、H30配布済） 稗貫川（R3作成、R4配布済） 県が管理するその他の河川（R7作成、配布済） （略） ・ため池ハザードマップの作成　防災重点ため池57カ所中56カ所作成済（R7） ⇒随時拡大	**【重要業績評価指標】** （略） ・洪水ハザードマップの作成　北上川・猿ヶ石川（H29作成、H30配布済） 稗貫川（R3作成、R4配布済） （略）
	（略）	（略）
２６ページ	（略） **【重要業績評価指標】** ・土砂災害ハザードマップの作成（R7作成・配布済）　⇒随時更新・配布 （略）	（略） **【重要業績評価指標】** ・土砂災害ハザードマップの作成　（R2作成・配布済）　⇒随時更新・配布 （略）
	（略） (5) 情報伝達の不備・麻痺・長期停止等の情報伝達機能の低下や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生を回避するため、岩手県災害情報システムによ	（略） (5) 情報伝達の不備・麻痺・長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生を回避するため、岩手県災害情報システムによ

	る情報伝達体制の強化を図ります。また、自主防災組織の活動の充実・強化を図ります。 （略）	る情報伝達体制の強化を図ります。また、自主防災組織の活動の充実・強化を図ります。 （略）
２７ページ	（略） **【重要業績評価指標】** （略） ・自主防災組織の結成割合　98.3％（R7）　⇒100％（R9） ・防災訓練を実施した自主防災組織数　119 組織（R6）　⇒176 組織（R9） ・防災講話の実施回数　36 回（R6）　⇒35 回（R9） （略） **○目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** （1）　（略） （略） **【重要業績評価指標】** （略） ・水や食料、備品等を備蓄している市民の割合　39.1％（R7）　⇒50.0％（R9） （略） （略）	（略） **【重要業績評価指標】** （略） ・自主防災組織の結成割合　98.3％（R6）　⇒100％（R9） ・防災訓練を実施した自主防災組織数　118 組織（R5）　⇒176 組織（R9） ・防災講話の実施回数　30 回（R5）　⇒35 回（R9） （略） **○目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** （1）　（略） （略） **【重要業績評価指標】** （略） ・水や食料、備品等を備蓄している市民の割合　38.4％（R5）　⇒50.0％（R9） （略） （略）
２８ページ	**【重要業績評価指標】** ・衛星携帯電話の配備数　本庁・3 総合支所に計 4 台、消防本部通信指令室・消防車両に計 7 台（H26 完了） ・ＩＰ無線電話の配備数　消防本部通信指令室・消防車両に計 52 台（R7 完了） （3）（略） （略） **【重要業績評価指標】** （略） ・消防団員数の定数充足率　83.4％（R6）　⇒87.6％（R9） ・消防団協力事業所数　22 事業所（R7）　⇒22 事業所（R9） ・消防団応援の店事業所数　124 事業所（R7）　⇒130 事業所（R9）	**【重要業績評価指標】** ・衛星携帯電話の配備数　本庁・3 総合支所に計 4 台、消防指令センター・消防車両に計 7 台（H26 完了） ・ＩＰ無線電話の配備数　消防指令センター・消防車両に計 32 台（H26 完了） （3）（略） （略） **【重要業績評価指標】** （略） ・消防団員数の定数充足率　87.0％（R5）　⇒87.6％（R9） ・消防団協力事業所数　22 事業所（R5）　⇒22 事業所（R9） ・消防団応援の店事業所数　129 事業所（R5）　⇒130 事業所（R9）

	・耐用年数内の消防車両の割合　83.9%（R7 完了）⇒100.0%(R9)	・耐用年数内の消防車両の割合　100.0%（R5 完了）
	(4)（略） （略） ➡「避難所開設・運営マニュアル」を随時見直し、スムーズな避難者の受け入れと避難所における良好な生活環境の確保、「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」（内閣府）に基づく生活空間の確保、バリアフリー化、暑さ寒さ対策、避難支援室用のスペース、男女別トイレ等の確保、トイレカーの導入、食事の質の確保や食物アレルギー対応など要配慮者が求める支援情報の把握等に取り組みます。 **【重要業績評価指標】** ・指定緊急避難場所　41 カ所（R7 指定済） （略） ・公園等施設長寿命化計画（R2 策定済）　⇒R9 見直し	(4)（略） （略） ➡「避難所開設・運営マニュアル」を随時見直し、スムーズな避難者の受け入れと避難所における良好な生活環境の確保、「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」（内閣府）に基づく＿＿＿＿＿＿バリアフリー化、暑さ寒さ対策、避難支援室用のスペース、男女別トイレ等の確保、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿食物アレルギー対応など要配慮者が求める支援情報の把握等に取り組みます。 【重要業績評価指標】 ・指定緊急避難場所　41 カ所（R5 指定済） （略） ・公園等施設長寿命化計画（R2 策定済）　⇒R6 見直し
２９ページ	(5)（略） （略） **【重要業績評価指標】** ・麻しん、風しんの混合Ⅱ期接種率　94.3%（R6）　⇒98%（R9） （略） **○目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない** （略） **【重要業績評価指標】** ・水田整備率　69.1%（R7）　⇒69.6%（R9） (3)農地・森林等の荒廃による被害の拡大を回避するため、治山対策、農業水利施設の保全管理、森林整備、鳥獣被害防止対策等を強化します。 ➡荒廃森林や荒廃危険地における治山ダム等の整備・促進を受け、山地災害危険地区を周知します。 ➡農業、農村の多面的機能の確保のため、中山間地域等での農業生産活動や農地、農業用施設の維持、保全活動を支援するとともに、基幹的農業水利施設の管理者と連携して、必要な維持改修を推進します。	(5)（略） （略） 【重要業績評価指標】 ・麻しん、風しんの混合Ⅱ期接種率　92.8%（R5）　⇒98%（R9） （略） ○目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない （略） 【重要業績評価指標】 ・水田整備率　68.9%（R5）　⇒69.6%（R9） （追記）

３０ページ	➡土砂災害や洪水、雪崩等の防止、緩和効果のある森林育成のため、森林経営計画に基づき、計画的な間伐等の整備を推進します。 ➡農地等の被害による地域の荒廃を防止するため、花巻市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣の捕獲を推進します。 **【重要業績評価指標】** ・再造林率（針葉樹）17.7%（R6）　⇒27.0%（R9） ・有害鳥獣捕獲数　2,397 頭（R6）　⇒2,810 頭（R8） ○目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる （略） **【重要業績評価指標】** ・消防水利の充足率　69.8%（R7）　⇒69.9%（R9） （略）	（追記） ○目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、＿＿＿＿＿＿＿＿ライフライン、＿＿＿＿＿＿交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期復旧を図る （略） **【重要業績評価指標】** ・消防水利の充足率　68.1%（R5）　⇒69.9%（R9） （略）
３１ページ	（略） （4）（略） （略） **【重要業績評価指標】** ・市道改良率　57.4%（R6）　⇒57.7%（R9） （略） （略） （削除）	（略） （4）（略） （略） **【重要業績評価指標】** ・市道改良率　57.3%（R5）　⇒57.7%（R9） （略） （略） **○目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも制御不能な二次災害を発生させない** （1）ため池、ダム、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生を回避するため、ため池ハザードマップの作成を進めるとともに、ダム管理者との連絡体制を強化します。 ➡国の農業水路等長寿命化・防災減災事業の緊急対策により、ため池ハザードマップの作成について推進するとともに、国の農業水路等長寿命化・防災減災事業などを活用し、計画的なため池の維持補修及び廃止を推進します。 ➡迅速な避難のため、ダムの災害時の放流状況等について、引き続きダム管理者との連絡体制を整備し、連絡体制を強化します。 **【重要業績評価指標】** ・ため池ハザードマップの作成　防災重点ため池 57 カ所中 42 カ所作成済（R6）

	○目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済が迅速かつ従前より強靭な姿で復興できる条件を整備する （1）（略） （略）	⇒随時拡大 （2）農地・森林等の荒廃による被害の拡大を回避するため、治山対策、農業水利施設の保全管理、森林整備等を強化します。 ➡荒廃森林や荒廃危険地における治山ダム等の整備・促進を受け、山地災害危険地区を周知します。 ➡農業、農村の多面的機能の確保のため、中山間地域等での農業生産活動や農地、農業用施設の維持、保全活動を支援するとともに、基幹的農業水利施設の管理者と連携して、必要な維持改修を推進します。 ➡土砂災害や洪水、雪崩等の防止、緩和効果のある森林育成のため、森林経営計画に基づき、計画的な間伐等の整備を推進します。 【重要業績評価指標】 ・再造林率（針葉樹）23.3%（R4）　⇒27.0%（R9） ○目標７　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済を迅速に再建・回復する （1）（略） （略）
３２ページ	（略） ➡低濃度ＰＣＢ廃棄物の適正処理については、県が関係法令に基づき適切に対応するよう、引き続き要望していきます。 （略） （3）（略） （略） 【重要業績評価指標】 ・地域の課題解決のために事業化した割合　86.1%（R6）⇒85.0%（R9） ・自主防災組織の結成割合　98.3%（R7）　⇒100%（R9）（再掲 1-5⑥） （略）	（略） （略） （3）（略） （略） 【重要業績評価指標】 ・地域の課題解決のために事業化した割合　85.0%（R6）⇒85.0%（R9） ・自主防災組織の結成割合　98.3%（R6）　⇒100%（R9）（再掲 1-5⑥） （略）

赤字…県計画との調和　青字…国交付金を考慮した変更　橙字…評価指標の数値等の時点修正　緑字…その他変更（現状取組に合わせた変更等）

新旧対照表（第２期花巻市国土強靱化地域計画　別紙１　起きてはならない最悪の事態ごとの脆弱性評価結果）

別紙１	新	旧
１ページ	別紙１　起きてはならない最悪の事態ごとの脆弱性評価結果 目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、直接死を最大限防ぐ **最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む）** **【想定】耐震性の低い住宅・建築物が倒壊する** （略） ③　学校施設（学校給食施設を含む）の耐震化 ・小中学校校舎・屋内運動場の耐震化は、平成 30 年度に完了しているが、児童・生徒の安全を確保するため、照明器具などの非構造部材の落下防止対策のほか、学校施設の老朽化対策を推進する必要がある。また、学校給食施設は、施設や調理設備の老朽化で修繕費が増大しており、現在の 10 か所を全て維持するのは財政負担が大きいため、児童生徒数の推移や老朽化対策を踏まえて運営を継続的に検討するとともに、耐震対策を推進する必要がある。 （略） **【想定】火災の発生に気づかない、逃げ遅れる**	別紙１　起きてはならない最悪の事態ごとの脆弱性評価結果 目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、人命の保護を最大限に確保する **最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生** **【想定】耐震性の低い住宅・建築物が倒壊する** （略） ③　学校施設の耐震化 ・小中学校校舎・屋内運動場の耐震化は、平成 30 年度に完了しているが、児童・生徒の安全を確保するため、照明器具などの非構造部材の落下防止対策のほか、学校施設の老朽化対策を推進する必要がある。 （略） **【想定】火災の発生に気づかない、逃げ遅れる**
２ページ	（略） ⑨　林野火災警報の適切な運用 ・林野火災警報等について、国が定めた発令基準等に基づき、市（消防含む）は躊躇なく発令し、制度を適切に運用していく必要がある。 **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　住宅の耐震化率　79.4%（R6） （略） ⑤　老朽危険住宅除却費補助件数　2 件（R6） ⑥　ブロック塀等安全確保事業費補助件数　7 件（R6） （略） ⑧　住宅用火災警報器の設置率　94.1%（R7） **最悪の事態 1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生** （略） **【想定】浸水地域に要救助者が取り残される** ③　洪水ハザードマップの作成 （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　住宅の耐震化率　79.1%（R5） （略） ⑤　老朽危険住宅除却費補助件数　4 件（R5） ⑥　ブロック塀等安全確保事業費補助件数　9 件（R5） （略） ⑧　住宅用火災警報器の設置率　93.1%（R5） **最悪の事態 1-2　異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水による死傷者の発生** （略） **【想定】浸水地域に要救助者が取り残される** ③　洪水ハザードマップの作成 （略）

	・県が管理するその他の河川については、県が指定する浸水想定区域を踏まえ、北上川、猿ヶ石川及び稗貫川を含めた新たな洪水ハザードマップを作成・配布済みであるが、想定される被害の範囲や規模、避難所等について継続的に周知する必要がある。 （略）	・県が管理するその他の河川については、県が指定する浸水想定区域を踏まえ、新たな洪水ハザードマップを作成する必要がある。 （略）
３ページ	（略） ⑥　内水ハザードマップの作成 ・国のガイドラインに沿って内水浸水被害の最小化を図るため内水ハザードマップを作成する必要がある。 **【想定】ため池が決壊、または機能不全に陥る** ⑦　ため池ハザードマップの整備 ・防災重点ため池（下流に人家、公共施設等がある大規模なため池）について、県と連携しながらハザードマップを作成し、地域住民に情報提供する必要がある。 ⑧　防災重点ため池の整備・廃止 ・老朽化等により漏水、クラック、断面変形などが認められるため池については、県と連携しながら補修、補強及び廃止等を進める必要がある。 **【想定】ダムが決壊、または機能不全に陥る** ⑨　ダム管理者との連絡体制の強化 ・迅速な避難のため、ダムの災害時の放流状況等について、ダム管理者との連絡体制を整備している。今後も連絡体制を強化する必要がある。 **【想定】河川・土砂災害対策施設が損壊、または機能不全に陥る** ⑩　河川・土砂災害対策関連施設の老朽化対策 ・河川関連施設の老朽化対策（再掲 1-2②） ・土砂災害対策施設の老朽化対策 **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　河川改修率　56.2%（R5） ③　洪水ハザードマップの作成　北上川・猿ヶ石川（H29 作成、H30 配布済） 稗貫川（R3 作成、R4 配布済） 北上川・猿ヶ石川・稗貫川を含む県が管理するその他の河川（R7 作成、配布済み） （略） ⑦　ため池ハザードマップの作成　防災重点ため池 57 カ所中 56 カ所作成済（R7）	（略） <

4ページ	**最悪の事態 1-3　土砂災害等による多数の死傷者の発生** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ④　土砂災害ハザードマップの作成　（R7 作成・配布済、今後随時更新・配布） （略） （略）	**最悪の事態 1-3　土砂災害等による多数の死傷者の発生** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ④　土砂災害ハザードマップの作成　（R2 作成・配布済、今後随時更新・配布） （略） （略）
5ページ	（略） **最悪の事態 1-5　情報伝達の 不備・麻痺・長期停止等の情報伝達機能の低下や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生** （略）	（略） **最悪の事態 1-5　情報伝達の 不備・麻痺・長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生** （略）
6ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** （略） ⑥　自主防災組織の結成割合　98.3%（R7） ⑦　防災訓練を実施した自主防災組織数　119 組織（R6） ⑧　防災講話の実施回数　36 回（R6） （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** （略） ⑥　自主防災組織の結成割合　98.3%（R6） ⑦　防災訓練を実施した自主防災組織数　118 組織（R5） ⑧　防災講話の実施回数　30 回（R5） （略）
7ページ	**目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** **最悪の事態 2-1　被災地での食料・飲水等、生命に関わる物資供給の長期停止** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** （略） ③　水や食料、備品等を備蓄している市民の割合　39.1%（R7） （略）	**目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** **最悪の事態 2-1　被災地での食料・飲水等、生命に関わる物資供給の長期停止** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** （略） ③　水や食料、備品等を備蓄している市民の割合　38.4%（R5） （略）
8ページ	**最悪の事態 2-2　多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ②　衛星携帯電話の配備数　本庁・3 総合支所に計 4 台、消防本部通信指令室・消防車両に計 7 台（H26 完了）	**最悪の事態 2-2　多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ②　衛星携帯電話の配備数　本庁・3 総合支所に計 4 台、消防指令センター・消防車両に計 7 台（H26 完了）

	②　ＩＰ無線電話の配備数　消防本部通信指令室・消防車両に計 52 台（R7 完了） （略）	②　ＩＰ無線電話の配備数　消防指令センター　・消防車両に計 32 台（H26 完了） （略）
９ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** （略） ③　消防団員数の定数充足率　83.4%（R7） ③　消防団協力事業所数　22 事業所（R7） ③　消防団応援の店事業所数　124 事業所（R7） ⑤　耐用年数内の消防車両の割合　83.9%（R7） （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** （略） ③　消防団員数の定数充足率　87.0%（R5） ③　消防団協力事業所数　22 事業所（R5） ③　消防団応援の店事業所数　129 事業所（R5） ⑤　耐用年数内の消防車両の割合　100.0%（R5 完了） （略）
１０ページ	（略） **【想定】避難所等での良好な生活環境を確保できない** ④　指定緊急避難場所・指定避難所における生活環境の整備 （略） ・避難所における生活環境については、高齢者等の二次被害発生など、近年の大規模災害でも課題となっており、「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」（内閣府）に基づき、生活空間の確保、バリアフリー化、暑さ寒さ対策、避難支援室用のスペース、男女別トイレ等の確保、トイレカーの導入、食事の質の確保や食物アレルギー対応など要配慮者が求める支援情報の把握等に取り組む必要がある。 （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　指定緊急避難場所　41 カ所（R7 指定済） （略） （略）	（略） **【想定】避難所等での良好な生活環境を確保できない** ④　指定緊急避難場所・指定避難所における生活環境の整備 （略） ・避難所における生活環境については、高齢者等の二次被害発生など、近年の大規模災害でも課題となっており、「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」（内閣府）に基づき、＿＿＿＿＿＿バリアフリー化、暑さ寒さ対策、避難支援室用のスペース、男女別トイレ等の確保、トイレカーの導入、＿＿＿＿＿＿食物アレルギー対応など要配慮者が求める支援情報の把握等に取り組む必要がある。 （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　指定緊急避難場所　41 カ所（R5 指定済） （略） （略）
１１ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　麻しん、風しんの混合Ⅱ期接種率　94.3%（R6）	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　麻しん、風しんの混合Ⅱ期接種率　92.8%（R5）
１３ページ	**目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない**	**目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない**

	（略） **最悪の事態 4-2　農業の停滞** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　水田整備率　69.1%（R7） **最悪の事態 4-3　農地・森林等の荒廃による被害の拡大** **【想定】農地・森林等の荒廃により防災機能が低下する** ①　治山対策 ・集中豪雨等の発生頻度の増加により山地災害の発生リスクが高まっており、国や県では山地災害危険地区の周知と併せて、荒廃森林や荒廃危険地における治山ダム等の整備を進めている。 ②　農業・農村の多面的機能の確保 ・洪水や土砂災害の防止機能など、防災面においても農業、農村の多面的機能の確保は重要であり、中山間地域等での農業生産活動や農地、農業用施設の維持、保全活動を支援する必要がある。 ③　農業水利施設の保全管理 ・基幹的農業水利施設（頭首工、用排水路等）のうち、詳細な診断を要するものについては、劣化状況把握等の機能診断を行い、必要な長寿命化対策を進める必要がある。 ④　森林整備 ・土砂災害や洪水、雪崩等の防止、緩和効果のある森林育成のため、森林経営計画に基づき、計画的な間伐等の整備を推進する必要がある。 ⑤　鳥獣被害防止対策 ・農地等の被害による地域の荒廃を防止するため、花巻市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣の捕獲を推進する必要がある。	（略） **最悪の事態 4-2　農業の停滞** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　水田整備率　68.9%（R5） （追加）
１４ページ	**【重要業績評価指標（現状値）】** ①④　再造林率（針葉樹）17.7%（R6） ⑥　有害鳥獣捕獲数　2,397頭（R6）	（追加）
１５ページ	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる （略）	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、＿＿＿＿＿＿＿＿ライフライン、＿＿＿＿＿＿交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期復旧を図る （略）

１６ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ④　消防水利の充足率　69.8%（R7） （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ④　消防水利の充足率　68.1%（R5） （略）
１７ページ	（略） **最悪の事態 5-4　市外との基幹交通及び地域ネットワークの機能停止** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　市道改良率　57.4%（R6） （略） （略） （削除）	（略） **最悪の事態 5-4　市外との基幹交通及び地域ネットワークの機能停止** （略） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　市道改良率　57.3%（R5） （略） （略） 目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、制御不能な二次災害を発生させない **最悪の事態 6-1　ため池、ダム、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生** **【想定】ため池が決壊、または機能不全に陥る** ①　ため池ハザードマップの整備 ・防災重点ため池（下流に人家、公共施設等がある大規模なため池）について、県と連携しながらハザードマップを作成し、地域住民に情報提供する必要がある。 ②　防災重点ため池の整備・廃止 ・老朽化等により漏水、クラック、断面変形などが認められるため池については、県と連携しながら補修、補強及び廃止等を進める必要がある。 **【想定】ダムが決壊、または機能不全に陥る** ③　ダム管理者との連絡体制の強化 ・迅速な避難のため、ダムの災害時の放流状況等について、ダム管理者との連絡体制を整備している。今後も連絡体制を強化する必要がある。 **【想定】河川・土砂災害対策施設が損壊、または機能不全に陥る** ④　河川・土砂災害対策関連施設の老朽化対策 ・河川関連施設の老朽化対策（再掲 1-2②） ・土砂災害対策施設の老朽化対策（再掲 5-4②） **【重要業績評価指標（現状値）】** ①　ため池ハザードマップの作成　防災重点ため池 57 カ所中 42 カ所作成済（R6）

		最悪の事態 6-2　農地・森林等の荒廃による被害の拡大 【想定】農地・森林等の荒廃により防災機能が低下する ①　治山対策 ・集中豪雨等の発生頻度の増加により山地災害の発生リスクが高まっており、国や県では山地災害危険地区の周知と併せて、荒廃森林や荒廃危険地における治山ダム等の整備を進めている。 ②　農業・農村の多面的機能の確保 ・洪水や土砂災害の防止機能など、防災面においても農業、農村の多面的機能の確保は重要であり、中山間地域等での農業生産活動や農地、農業用施設の維持、保全活動を支援する必要がある。 ③　農業水利施設の保全管理 ・基幹的農業水利施設（頭首工、用排水路等）のうち、詳細な診断を要するものについては、劣化状況把握等の機能診断を行い、必要な長寿命化対策を進める必要がある。 ④　森林整備 ・土砂災害や洪水、雪崩等の防止、緩和効果のある森林育成のため、森林経営計画に基づき、計画的な間伐等の整備を推進する必要がある。 【重要業績評価指標（現状値）】 ①④　再造林率（針葉樹）23.3%（R4）
１８ページ	目標6　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済が迅速かつ従前より強靭な姿で復興できる条件を整備する 最悪の事態 6-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） ③　ＰＣＢ早期処理のための対策 ・ＰＣＢを含有する油等の環境中への漏えいにより、人の健康や生活環境に被害が生じるおそれもあることから、低濃度ＰＣＢ廃棄物の適正処理に向けて、県が関係法令に基づき適切に対応するよう求める必要がある。 （略） 最悪の事態 6-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）	目標7　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済を迅速に再建・回復する 最悪の事態 7-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） （略） 最悪の事態 7-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）
１９ページ	最悪の事態 6-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 【重要業績評価指標（現状値）】 ①　地域の課題解決のために事業化した割合　86.1%（R6）	最悪の事態 7-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 【重要業績評価指標（現状値）】 ①　地域の課題解決のために事業化した割合　85.0%（R6）

	② 自主防災組織の結成割合 98.3%（R7）（再掲 1-5⑥）	② 自主防災組織の結成割合 98.3%（R6）（再掲 1-5⑥）

赤字…県計画との調和　青字…国交付金を考慮した変更　橙字…評価指標の数値等の時点修正　緑字…その他変更（現状取組に合わせた変更等）

新旧対照表（第２期花巻市国土強靱化地域計画　別紙２　起きてはならない最悪の事態を回避するための対応方策）

別紙２	新	旧
１ページ	別紙２　起きてはならない最悪の事態を回避するための対応方策 目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、直接死を最大限防ぐ	別紙２　起きてはならない最悪の事態を回避するための対応方策 目標１　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、人命の保護を最大限に確保する
	最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生（二次災害を含む） 【想定】耐震性の低い住宅・建築物が倒壊する （略） ③　学校施設（学校給食施設を含む）の耐震化 ・児童生徒の安全を確保するため、学校施設の大規模改造や長寿命化改良などの老朽化対策のほか、照明器具などの非構造部材を含めた耐震対策を推進する。 （略） 【想定】火災の発生に気づかない、逃げ遅れる （略）	最悪の事態 1-1　地震等による建築物の倒壊や火災による死傷者の発生 【想定】耐震性の低い住宅・建築物が倒壊する （略） ③　学校施設の耐震化 ・児童生徒の安全を確保するため、学校施設の大規模改造や長寿命化改良などの老朽化対策のほか、照明器具などの非構造部材を含めた耐震対策を推進する。 （略） 【想定】火災の発生に気づかない、逃げ遅れる （略）
２ページ	（略） ⑨　林野火災警報の適切な運用 ・林野火災警報等について、国が定めた発令基準等に基づき、市（消防含む）は躊躇なく発令し、広報・周知を図る。	（略）
	【重要業績評価指標（現状値と目標値）】 ①　住宅の耐震化率　79.4%（R6）⇒81.7%（R9） （略） ⑤　老朽危険住宅除却費補助件数　2件（R6）　⇒継続して補助 ⑥　ブロック塀等安全確保事業費補助件数　7件（R6）　⇒継続して補助 （略） ⑧　住宅用火災警報器の設置率　94.1%（R7）　⇒95.0%（R9） 【対応する事業】 （略） ③　義務教育学校整備事業　※詳細　別表事業一覧のとおり ③　学校給食センター改修事業　※詳細　別表事業一覧のとおり （略）	【重要業績評価指標（現状値と目標値）】 ①　住宅の耐震化率　79.1%（R5）⇒81.7%（R9） （略） ⑤　老朽危険住宅除却費補助件数　4件（R5）　⇒継続して補助 ⑥　ブロック塀等安全確保事業費補助件数　9件（R5）　⇒継続して補助 （略） ⑧　住宅用火災警報器の設置率　93.1%（R5）　⇒95.0%（R9） 【対応する事業】 （略） （略）
	（略）	（略）

3ページ	（略） **【想定】浸水地域に要救助者が取り残される** ③　洪水ハザードマップの作成 ・北上川、猿ヶ石川及び稗貫川については水防法に基づき想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域の指定を踏まえ、新たな洪水ハザードマップを作成・配布済みであるが、想定される被害の範囲や規模、避難所等について継続的に周知していく。 ・県が管理するその他の河川については、R5 年度から R7 年度にかけて県が指定する浸水想定区域を踏まえ、新たな洪水ハザードマップを作成し配布した。 （略） ⑥　内水ハザードマップの作成 ・国のガイドラインに沿って内水浸水被害の最小化を図るため内水ハザードマップを作成する必要があり、想定される内水被害の範囲や規模について周知していく。 **【想定】ため池が決壊、または機能不全に陥る** ⑦　ため池ハザードマップの整備 ・国の農業水路等長寿命化・防災減災事業の緊急対策により、ハザードマップの作成について推進する。 ⑧　防災重点ため池の整備・廃止 ・国の農業水路等長寿命化・防災減災事業などを活用し、計画的な維持補修及び廃止を推進する。	（略） **【想定】浸水地域に要救助者が取り残される** ③　洪水ハザードマップの作成 ・北上川、猿ヶ石川及び稗貫川については水防法に基づき想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域の指定を踏まえ、新たな洪水ハザードマップを作成・配布済みであり、引き続き想定される被害の範囲や規模、避難所等について継続的に周知していく。 ・県が管理するその他の河川については、R5 年度から R7 年度にかけて県が指定する浸水想定区域を踏まえ、新たな洪水ハザードマップを作成し配布する。 （略）
4ページ	**【想定】ダムが決壊、または機能不全に陥る** ⑨　ダム管理者との連絡体制の強化 ・迅速な避難のため、ダムの災害時の放流状況等について、引き続きダム管理者との連絡体制を整備し、連絡体制を強化する。 **【想定】河川・土砂災害対策施設が損壊、または機能不全に陥る** ⑩　河川・土砂災害対策関連施設の老朽化対策 ・河川関連施設の老朽化対策（再掲 1-2②） ・土砂災害対策施設の老朽化対策（再掲 1-3②） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ③　洪水ハザードマップの作成　北上川・猿ヶ石川（H29 作成、H30 配布済） 稗貫川（R3 作成、R4 配布済） 県が管理するその他の河川（R7 作成、配布済） （略） ⑥　ため池ハザードマップの作成　防災重点ため池 57 カ所中 56 カ所作成済（R7）	**【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ③　洪水ハザードマップの作成　北上川・猿ヶ石川（H29 作成、H30 配布済） 稗貫川（R3 作成、R4 配布済） （略）

	⇒随時拡大 **【対応する事業】** （略） ⑥　公共下水道雨水対策事業　※詳細　別表事業一覧のとおり （略） **最悪の事態 1-3　土砂災害等による多数の死傷者の発生** （略）	**【対応する事業】** （略） （略） **最悪の事態 1-3　土砂災害等による多数の死傷者の発生** （略）
5 ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ③　土砂災害ハザードマップの作成　（R7 作成・配布済）⇒随時更新・配布 （略） （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ③　土砂災害ハザードマップの作成　（R2 作成・配布済）　⇒随時更新・配布 （略） （略）
6 ページ	**最悪の事態 1-5　情報伝達の不備・麻痺・長期停止等の情報伝達機能の低下や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生** （略）	**最悪の事態 1-5　情報伝達の 不備・麻痺・長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生** （略）
7 ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ⑥　自主防災組織の結成割合　98.3%（R7）　⇒100%（R9） ⑦　防災訓練を実施した自主防災組織数　119 組織（R6）　⇒176 組織（R9） ⑧　防災講話の実施回数　36 回（R6）　⇒35 回（R9） （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ⑥　自主防災組織の結成割合　98.3%（R6）　⇒100%（R9） ⑦　防災訓練を実施した自主防災組織数　118 組織（R5）　⇒176 組織（R9） ⑧　防災講話の実施回数　30 回（R5）　⇒35 回（R9） （略）
8 ページ	**目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** **最悪の事態 2-1　被災地での食料・飲水等、生命に関わる物資供給の長期停止** （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ③　水や食料、備品等を備蓄している市民の割合　39.1%（R7）　⇒50.0%（R9） （略） （略）	**目標２　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ** **最悪の事態 2-1　被災地での食料・飲水等、生命に関わる物資供給の長期停止** （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ③　水や食料、備品等を備蓄している市民の割合　38.4%（R5）　⇒50.0%（R9） （略） （略）

９ページ	**最悪の事態 2-2　多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生** **【想定】孤立地区の被害状況を把握できない** （略） ②　通信手段の確保 ・通信の途絶が想定される地域との通信を想定し、市役所本館及び３総合支所並びに消防本部通信指令室、消防車両等に衛星携帯電話を配備している。また、消防車両には無線電話通信網のデータ通信機能を活用したＩＰ無線電話を配置している。 （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ②　衛星携帯電話の配備数　本庁・３総合支所に計４台、消防本部通信指令室・消防車両に計７台（H26 完了） ②　ＩＰ無線電話の配備数　消防本部通信指令室・消防車両に計 52 台（R7 完了） （略） （略）	**最悪の事態 2-2　多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生** **【想定】孤立地区の被害状況を把握できない** （略） ②　通信手段の確保 ・通信の途絶が想定される地域との通信を想定し、市役所本館及び３総合支所並びに消防指令センター　、消防車両等に衛星携帯電話を配備している。また、消防車両には無線電話通信網のデータ通信機能を活用したＩＰ無線電話を配置している。 （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ②　衛星携帯電話の配備数　本庁・３総合支所に計４台、消防指令センター　・消防車両に計７台（H26 完了） ②　ＩＰ無線電話の配備数　消防指令センター　・消防車両に計 32 台（H26 完了） （略） （略）
１０ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ③　消防団員数の定数充足率　83.4％（R7）　⇒87.6％（R9） ③　消防団協力事業所数　22 事業所（R7）　⇒22 事業所（R9） ③　消防団応援の店事業所数　124 事業所（R7）　⇒130 事業所（R9） ⑤　耐用年数内の消防車両の割合　83.9％（R7）⇒100.0％（R9） （略） （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** （略） ③　消防団員数の定数充足率　87.0％（R5）　⇒87.6％（R9） ③　消防団協力事業所数　22 事業所（R5）　⇒22 事業所（R9） ③　消防団応援の店事業所数　129 事業所（R5）　⇒130 事業所（R9） ⑤　耐用年数内の消防車両の割合　100.0％（R5 完了） （略） （略）
１１ページ	（略） **【想定】避難所等が被災して使用できない** ③　指定緊急避難場所・指定避難所の機能確保・強化 （略） ・指定緊急避難場所・指定避難所に指定している施設のトイレについて、様式化を進めるとともに、多目的トイレの設置を推進する。また、災害用トイレカーの運用を通じ、良好なトイレ環境の提供に努める。 **【想定】避難所等での良好な生活環境を確保できない**	（略） **【想定】避難所等が被災して使用できない** ③　指定緊急避難場所・指定避難所の機能確保・強化 （略） ・指定緊急避難場所・指定避難所に指定している施設のトイレについて、様式化を進めるとともに、多目的トイレの設置を推進する。 **【想定】避難所等での良好な生活環境を確保できない**

	④　指定緊急避難場所・指定避難所における生活環境の整備 ・「避難所開設・運営マニュアル」を随時見直し、スムーズな避難者の受け入れと避難所における良好な生活環境の確保に取り組む。 ・「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」（内閣府）に基づき、生活空間の確保、バリアフリー化、暑さ寒さ対策、避難支援室用のスペース、男女別トイレ等の確保、トイレカーの導入、食事の質の確保や食物アレルギー対応など要配慮者が求める支援情報の把握等に取り組む。 ・保健所等と連携し、災害時に起こりやすい健康課題に対する健康教育を行うとともに、こころのケアなどの支援体制づくりを推進する。 （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①　指定緊急避難場所　41 カ所（R7 指定済） （略） ⑥　公園等施設長寿命化計画（R2 策定済）　⇒R9 見直し （略）	④　指定緊急避難場所・指定避難所における生活環境の整備 ・「避難所開設・運営マニュアル」を随時見直し、スムーズな避難者の受け入れと避難所における良好な生活環境の確保に取り組む。 ・「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組み指針」（内閣府）に基づき、＿＿＿＿＿＿バリアフリー化、暑さ寒さ対策、避難支援室用のスペース、男女別トイレ等の確保、トイレカーの導入、＿＿＿＿＿＿食物アレルギー対応など要配慮者が求める支援情報の把握等に取り組む。 ・保健所等と連携し、災害時に起こりやすい健康課題に対する健康教育を行うとともに、こころのケアなどの支援体制づくりを推進する。 （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①　指定緊急避難場所　41 カ所（R5 指定済） （略） ⑥　公園等施設長寿命化計画（R2 策定済）　⇒R6 見直し （略）
１２ページ	（略） ⑥　公園整備事業　※詳細　別表事業一覧のとおり **最悪の事態 2-5　被災地における感染症等の大規模発生** （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①　麻しん、風しんの混合Ⅱ期接種率　94.3%（R6）⇒98%（R9） （略）	（略） ⑥　公園整備事業＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ **最悪の事態 2-5　被災地における感染症等の大規模発生** （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①　麻しん、風しんの混合Ⅱ期接種率　92.8%（R5）⇒98%（R9） （略）
１４ページ	**目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない** （略） **最悪の事態 4-2　農業の停滞** （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①　水田整備率　69.1%（R7）　⇒69.6%（R9） **【対応する事業】** （略） ①　土地改良事業（再掲 1-2⑦⑧） **最悪の事態 4-3　農地・森林等の荒廃による被害の拡大** **【想定】農地・森林等の荒廃により防災機能が低下する**	**目標４　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域の経済活動を機能不全に陥らせない** （略） **最悪の事態 4-2　農業の停滞** （略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①　水田整備率　68.9%（R5）　⇒69.6%（R9） **【対応する事業】** （略） ①　土地改良事業＿＿＿＿＿＿＿＿ （追記）

	①　治山対策 ・荒廃森林や荒廃危険地における治山ダム等の整備・促進を受け、山地災害危険地区を周知する。 ②　農業・農村の多面的機能の確保 ・農業、農村の多面的機能の確保のため、中山間地域等での農業生産活動や農地、農業用施設の維持、保全活動を支援する。 ③　農業水利施設の保全管理 ・基幹的農業水利施設の管理者と連携して、必要な維持改修を推進する。 ④　森林整備 ・土砂災害や洪水、雪崩等の防止、緩和効果のある森林育成のため、森林経営計画に基づき、計画的な間伐等の整備を推進する。 ⑤　鳥獣被害防止対策 ・農地等の被害による地域の荒廃を防止するため、花巻市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣の捕獲を推進する。 **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①④　再造林率（針葉樹）17.7%（R6）　⇒27.0%（R9）	
１５ページ	⑤　有害鳥獣捕獲数　2,397頭（R6）　⇒2,810頭（R8） **【対応する事業】** ①④　森林整備事業 ②　農村環境保全事業 ③　土地改良事業　（再掲4-2①） ⑤　有害鳥獣被害対策事業	
１６ページ	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる （略）	目標５　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、＿＿＿＿＿＿＿＿ライフライン、＿＿＿＿＿＿＿＿交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期復旧を図る （略）
１７ページ	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ④　消防水利の充足率　69.8%（R7）　⇒69.9%（R9） （略） （略）	（略） **【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ④　消防水利の充足率　68.1%（R5）　⇒69.9%（R9） （略） （略）

１８ページ

（略）	（略）
最悪の事態 5-4　市外との基幹交通及び地域ネットワークの機能停止	**最悪の事態 5-4　市外との基幹交通及び地域ネットワークの機能停止**
（略）	（略）
【重要業績評価指標（現状値と目標値）】 ①　市道改良率　57.4%（R6）　⇒57.7%（R9） （略） **【対応する事業】** （略） ①　ＪＲ花巻駅東西自由通路等整備事業 ②③　生活道路維持事業　※詳細　別表事業一覧のとおり （略）	**【重要業績評価指標（現状値と目標値）】** ①　市道改良率　57.3%（R5）　⇒57.7%（R9） （略） **【対応する事業】** （略） ②③　生活道路維持事業 （略）
（略）	（略）
（削除）	**目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、制御不能な二次災害を発生させない**
	最悪の事態 6-1　ため池、ダム、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生
	【想定】ため池が決壊、または機能不全に陥る ①　ため池ハザードマップの整備 ・国の農業水路等長寿命化・防災減災事業の緊急対策により、ハザードマップの作成について推進する。 ②　防災重点ため池の整備・廃止 ・国の農業水路等長寿命化・防災減災事業などを活用し、計画的な維持補修及び廃止を推進する。 **【想定】ダムが決壊、または機能不全に陥る** ③　ダム管理者との連絡体制の強化 ・迅速な避難のため、ダムの災害時の放流状況等について、引き続きダム管理者との連絡体制を整備し、連絡体制を強化する。 **【想定】河川・土砂災害対策施設が損壊、または機能不全に陥る** ④　河川・土砂災害対策関連施設の老朽化対策 ・河川関連施設の老朽化対策（再掲 1-2②） ・土砂災害対策施設の老朽化対策（再掲 5-4②）
	【重要業績評価指標（現状値と目標値）】 ①　ため池ハザードマップの作成　防災重点ため池 57 カ所中 42 カ所作成済（R6） ⇒随時拡大 **【対応する事業】** ①②　土地改良事業　（再掲 4-2①）※詳細　別表事業一覧のとおり
	最悪の事態 6-2　農地・森林等の荒廃による被害の拡大

		【想定】農地・森林等の荒廃により防災機能が低下する ①　治山対策 ・荒廃森林や荒廃危険地における治山ダム等の整備・促進を受け、山地災害危険地区を周知する。 ②　農業・農村の多面的機能の確保 ・農業、農村の多面的機能の確保のため、中山間地域等での農業生産活動や農地、農業用施設の維持、保全活動を支援する。 ③　農業水利施設の保全管理 ・基幹的農業水利施設の管理者と連携して、必要な維持改修を推進する。 ④　森林整備 ・土砂災害や洪水、雪崩等の防止、緩和効果のある森林育成のため、森林経営計画に基づき、計画的な間伐等の整備を推進する。 【重要業績評価指標（現状値と目標値）】 ①④　再造林率（針葉樹）23.3%（R4）　⇒27.0%（R9） 【対応する事業】 ①④　森林整備事業 ②　農村環境保全事業 ③　土地改良事業　（再掲 4-2①）
２０ページ	目標６　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済が迅速かつ従前より強靭な姿で復興できる条件を整備する 最悪の事態 6-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 【想定】災害廃棄物処理が滞る （略） ③　ＰＣＢ早期処理のための対策 ・ＰＣＢを含油する油等の環境中への漏えいにより、人の健康や生活環境に被害が生じるおそれもあることから、低濃度ＰＣＢ廃棄物の適正処理に向けて、県が関係法令に基づき適切に対応するよう引き続き要望していく。 （略） 最悪の事態 6-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）	目標７　いかなる大規模自然災害が発生しようとも、地域社会・経済を迅速に再建・回復する 最悪の事態 7-1　災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態 【想定】災害廃棄物処理が滞る （略） （略） 最悪の事態 7-2　復旧・復興を担う人材の絶対的不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略）
２１ページ	最悪の事態 6-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 【重要業績評価指標（現状値と目標値）】 ①　地域の課題解決のために事業化した割合　86.1%（R6）⇒85.0%（R9）	最悪の事態 7-3　地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態 （略） 【重要業績評価指標（現状値と目標値）】 ①　地域の課題解決のために事業化した割合　85.0%（R6）⇒85.0%（R9）

	② 自主防災組織の結成割合 98.3%（R7） ⇒100%（R9）（再掲 1-5⑥） （略）	② 自主防災組織の結成割合 98.3%（R6） ⇒100%（R9）（再掲 1-5⑥） （略）

青字…国交付金を考慮した変更　緑字…その他変更（現状取組に合わせた変更等）

新

別表　事業一覧

（花巻市）

事業名／事業箇所等	整備内容	
1-1③小学校施設維持事業		
桜台小学校長寿命化改良	長寿命化	
笹間第一小学校大規模改造	バリアフリー化	
八幡小学校大規模改造	バリアフリー化	
八重畑小学校大規模改造	バリアフリー化	
花巻小学校大規模改造	照明器具改修	
若葉小学校大規模改造	照明器具改修	
宮野目小学校大規模改造	照明器具改修	
笹間第一小学校大規模改造	照明器具改修	
東和小学校大規模改造	照明器具改修	
1-1③中学校施設維持事業		
花巻北中学校大規模改造	バリアフリー化	
南城中学校大規模改造	バリアフリー化	
花巻中学校大規模改造	照明器具改修	
湯本中学校大規模改造	照明器具改修	
東和中学校大規模改造	照明器具改修	
宮野目中学校大規模改造	照明器具改修	
西南中学校大規模改造	照明器具改修	
石鳥谷中学校大規模改造	照明器具改修	
1-1③学校給食センター改修事業		
石鳥谷学校給食センター改修	空調設備更新	
1-1③義務教育学校整備事業		
矢沢地区義務教育学校増改築等	増改築・長寿命化	
1-1③スポーツ施設環境整備事業		
外川目地区社会体育館・社会体育施設耐震化	非構造部材耐震対策	
1-2①河川排水路改修等事業		
山下川	河川改修	L=815m
二枚橋排水路	水路改修	L=1,818m
湯本地区排水路	水路改修	L=517m
川原町排水路	水路改修	L=500m
上沢川	河川改修	L=546m
大沢口川	河川改修	L=101m
後通排水路	水路改修	L=262m
薬師神社排水路	水路改修	L=100m
本町地区排水路	水路改修	L=20m
金矢地区排水路	水路改修	L=10m
雀田川排水路	河川改修	L=573m
高松川	河川改修	L=200m

旧

別表　事業一覧

（花巻市）

事業名／事業箇所等	整備内容	
	内容	延長
1-1③小学施設維持事業		
桜台小学校長寿命化改良	長寿命化	
笹間第一小学校大規模改造	バリアフリー化	
八幡小学校大規模改造	バリアフリー化	
八重畑小学校大規模改造	バリアフリー化	
花巻小学校大規模改造	照明器具改修	
若葉小学校大規模改造	照明器具改修	
宮野目小学校大規模改造	照明器具改修	
笹間第一小学校大規模改造	照明器具改修	
東和小学校大規模改造	照明器具改修	
1-1③中学施設維持事業		
花巻北中学校大規模改造	バリアフリー化	
南城中学校大規模改造	バリアフリー化	
花巻中学校大規模改造	照明器具改修	
湯本中学校大規模改造	照明器具改修	
東和中学校大規模改造	照明器具改修	
宮野目中学校大規模改造	照明器具改修	
西南中学校大規模改造	照明器具改修	
石鳥谷中学校大規模改造	照明器具改修	
1-1③スポーツ施設環境整備事業		
外川目地区社会体育館・社会体育施設耐震化	非構造部材耐震対策	
1-2①河川排水路改修等事業		
山下川	河川改修	L=815m
二枚橋排水路	水路改修	L=1,818m
湯本地区排水路	水路改修	L=517m
川原町排水路	水路改修	L=500m
上沢川	河川改修	L=546m
大沢口川	河川改修	L=101m
後通排水路	水路改修	L=262m
薬師神社排水路	水路改修	L=100m
本町地区排水路	水路改修	L=20m
金矢地区排水路	水路改修	L=10m
雀田川排水路	河川改修	L=573m
高松川	河川改修	L=200m

新			旧		
花南地区排水路（産業団地関連）	水路改修	L=750m	花南地区排水路（産業団地関連）	水路改修	L=750m
大堰川	河川改修	L=100m	大堰川	河川改修	L=100m
荻堀川	河川改修	L=100m	荻堀川	河川改修	L=100m
折壁川	河川改修	L=50m	折壁川	河川改修	L=50m
後川筋排水路	水路改修	L=50m	後川筋排水路	水路改修	L=50m
愛宕地内排水路	水路改修	L=50m	愛宕地内排水路	水路改修	L=50m
宇南川	河川改修	L=100m	宇南川	河川改修	L=100m
平滝川	河川改修	L=100m	平滝川	河川改修	L=100m
後川	河川改修	L=1,400m	後川	河川改修	L=1,400m
油沢川	河川改修	L=100m			
狼洞川	河川改修	L=30m			
枇杷沢川	準用河川	浚渫	枇杷沢川	準用河川	浚渫
宇南川	普通河川	浚渫	宇南川	普通河川	浚渫
大上川	普通河川	浚渫	大上川	普通河川	浚渫
黒森川	準用河川	浚渫	黒森川	準用河川	浚渫
鳴沢川	準用河川	浚渫	鳴沢川	準用河川	浚渫
山口川	準用河川	浚渫	山口川	準用河川	浚渫
後川	準用河川	浚渫	後川	準用河川	浚渫
滝沢川	準用河川	浚渫	滝沢川	準用河川	浚渫
高松川	準用河川	浚渫	高松川	準用河川	浚渫
姉市川	準用河川	浚渫	姉市川	準用河川	浚渫
間木沢川	準用河川	浚渫	間木沢川	準用河川	浚渫
新田川	準用河川	浚渫	新田川	準用河川	浚渫
稚鍋川	準用河川	浚渫	稚鍋川	準用河川	浚渫
小通川	準用河川	浚渫	小通川	準用河川	浚渫
新地川	準用河川	浚渫	新地川	準用河川	浚渫
折壁川	準用河川	浚渫	折壁川	準用河川	浚渫
平滝川	普通河川	浚渫	平滝川	普通河川	浚渫
中沢川	準用河川	浚渫	中沢川	準用河川	浚渫
荻堀川	準用河川	浚渫	荻堀川	準用河川	浚渫
白土川	準用河川	浚渫			
神倉沢川	準用河川	浚渫			
1-2⑤公共下水道長寿命化対策事業			1-2⑤公共下水道長寿命化対策事業		
高田排水ポンプ場	電気設備	改築更新	高田排水ポンプ場	電気設備	改築更新
高田排水ポンプ場	機械設備	改築更新	高田排水ポンプ場	機械設備	改築更新
1-2⑥公共下水道雨水対策事業					
都市下水路	雨水排水	内水浸水			
2-4③小学校施設維持事業			2-4③小学校施設維持事業		
湯口小学校屋内運動場	トイレ洋式化		湯口小学校屋内運動場	トイレ洋式化	
宮野目小学校屋内運動場	トイレ洋式化		宮野目小学校屋内運動場	トイレ洋式化	
若葉小学校屋内運動場	トイレ洋式化				
大迫小学校屋内運動場	トイレ洋式化				

新			旧		
花巻小学校屋内運動場	トイレ洋式化				
笹間第一小学校屋内運動場	トイレ洋式化				
2-4③中学校施設維持事業			2-4③中学校施設維持事業		
南城中学校武道場	トイレ洋式化		南城中学校武道場	トイレ洋式化	
宮野目中学校武道場	トイレ洋式化		宮野目中学校武道場	トイレ洋式化	
花巻中学校武道場	トイレ洋式化				
花巻北中学校武道場	トイレ洋式化				
湯本中学校武道場	トイレ洋式化				
大迫中学校武道場	トイレ洋式化				
2-4④小学校施設維持事業			2-4④小学施設維持事業		
宮野目小学校大規模改造	バリアフリー化		宮野目小学校大規模改造	バリアフリー化	
太田小学校大規模改造	バリアフリー化		太田小学校大規模改造	バリアフリー化	
新堀小学校	バリアフリー化		新堀小学校	バリアフリー化	
太田小学校大規模改造	空調設備設置		太田小学校大規模改造	空調設備設置	
大迫小学校大規模改造	空調設備設置		大迫小学校大規模改造	空調設備設置	
八幡小学校大規模改造	空調設備設置		八幡小学校大規模改造	空調設備設置	
八重畑小学校大規模改造	空調設備設置		八重畑小学校大規模改造	空調設備設置	
花巻小学校大規模改造	空調設備設置		花巻小学校大規模改造	空調設備設置	
若葉小学校大規模改造	空調設備設置		若葉小学校大規模改造	空調設備設置	
南城小学校大規模改造	空調設備設置				
湯本小学校大規模改造	空調設備設置				
大迫小学校大規模改造	暖房設備改修				
2-4④中学校施設維持事業			2-4④中学施設維持事業		
花巻中学校大規模改造	バリアフリー化		花巻中学校大規模改造	バリアフリー化	
花巻北中学校大規模改造	バリアフリー化		花巻北中学校大規模改造	バリアフリー化	
花巻北中学校大規模改造	空調設備設置		花巻北中学校大規模改造	空調設備設置	
南城中学校大規模改造	空調設備設置		南城中学校大規模改造	空調設備設置	
宮野目中学校大規模改造	空調設備設置		宮野目中学校大規模改造	空調設備設置	
西南中学校大規模改造	空調設備設置		西南中学校大規模改造	空調設備設置	
石鳥谷中学校大規模改造	空調設備設置		石鳥谷中学校大規模改造	空調設備設置	
宮野目中学校大規模改造	暖房設備改修				
2-4⑥道の駅整備事業			2-4⑥道の駅整備事業		
道の駅「はなまき西南」	整備	施設整備	道の駅「はなまき西南」	整備	施設整備
2-4⑥道の駅施設再編事業			2-4⑥道の駅施設再編事業		
道の駅「石鳥谷」	整備	施設再編	道の駅「石鳥谷」	整備	施設再編
2-4⑥公園整備事業			2-4⑥公園施設長寿命化対策支援事業		
戸塚森森林公園	公園施設	改築更新	花巻市都市公園	公園施設	改築更新
5-3①下水道耐震化事業			5-3①下水道耐震化事業		
高田汚水中継ポンプ場	接続管路	耐震化	高田汚水中継ポンプ場	接続管路	耐震化
花北処理区	管路施設	耐震化	花北処理区	管路施設	耐震化
大迫浄化センター	処理施設・管路施設	耐震化	大迫浄化センター	処理施設・管路施設	耐震化
大迫処理区	管路施設	耐震化	大迫処理区	管路施設	耐震化

新		
東和浄化センター	処理施設・管路施設	耐震化
東和処理区	管路施設	耐震化
東和汚水中継ポンプ場	ポンプ施設	耐震化
5-3②公共下水道長寿命化対策事業		
大迫浄化センター	電気設備	改築更新
大迫浄化センター	機械設備	改築更新
東和浄化センター	電気設備	改築更新
東和浄化センター	機械設備	改築更新
マンホールポンプ	電気設備	改築更新
マンホールポンプ	機械設備	改築更新
マンホール鉄蓋		交換
下水道汚水管	管路施設	改築更新
5-3④農業集落排水施設機能強化事業		
西南地区	管路施設	改築更新
西南地区	処理施設	改築更新
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
熊野地区	管路施設	改築更新
熊野地区	処理施設	改築更新
長根地区	管路施設	改築更新
長根地区	処理施設	改築更新
猪鼻地区	管路施設	改築更新
猪鼻地区	処理施設	改築更新
八重畑地区	管路施設	改築更新
八重畑地区	処理施設	改築更新
湯本南方	管路施設	改築更新
湯本南方	処理施設	改築更新
大北地区	管路施設	改築更新
大北地区	処理施設	改築更新
三日堀地区	管路施設	改築更新
三日堀地区	処理施設	改築更新
湯口中部地区	管路施設	改築更新
湯本北部地区	管路施設	改築更新
八幡・八日市地区	管路施設	改築更新
立石地区	管路施設	改築更新
東晴山地区	管路施設	改築更新
5-3⑤浄化槽維持管理適正化事業	浄化槽	市内全域
5-4①生活道路整備事業		
若葉町・天下田線	防雪柵	L=155m
烏森西1号線	道路改良	L=100m
浅沢南11号線	舗装新設	L=140m
上小舟渡東7号線外	道路改良	L=160m

旧		
東和浄化センター	処理施設・管路施設	耐震化
東和処理区	管路施設	耐震化
東和汚水中継ポンプ場	ポンプ施設	耐震化
5-3②公共下水道長寿命化対策事業		
大迫浄化センター	電気設備	改築更新
大迫浄化センター	機械設備	改築更新
東和浄化センター	電気設備	改築更新
東和浄化センター	機械設備	改築更新
マンホールポンプ	電気設備	改築更新
マンホールポンプ	機械設備	改築更新
マンホール鉄蓋		交換
下水道汚水管	管路更生	L=133m
5-3④農業集落排水施設機能強化事業		
西南地区	管路施設	改築更新
西南地区	処理施設	改築更新
イーハトーブ長根	管路施設	改築更新
イーハトーブ湯口中部	管路施設	改築更新
熊野地区	管路施設	改築更新
熊野地区	処理施設	改築更新
長根地区	管路施設	改築更新
長根地区	処理施設	改築更新
猪鼻地区	管路施設	改築更新
猪鼻地区	処理施設	改築更新
八重畑地区	管路施設	改築更新
八重畑地区	処理施設	改築更新
湯本南方	管路施設	改築更新
湯本南方	処理施設	改築更新
大北地区	管路施設	改築更新
大北地区	処理施設	改築更新
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿
5-3⑤浄化槽維持管理適正化事業	浄化槽	市内全域
5-4①生活道路整備事業		
若葉町・天下田線	防雪柵	L=155m
烏森西1号線	道路改良	L=100m
浅沢南11号線	舗装新設	L=140m
上小舟渡東7号線外	道路改良	L=160m

新		
四日町・浅沢線	道路改良	L=64m
桜台西1号線	道路改良	L=236m
上町花城町線	道路改良	L=210m
里川口仲町線	道路改良	L=270m
若葉町南3号線	道路改良	L=90m
南万南4号線	道路改良	L=332m
石神町法定外道路	舗装新設	L=80m
中北万丁目西6号線外	舗装新設	L=262m
南万東縦断4号線	道路改良	L=73m
若葉町縦断2号線	道路改良	L=135m
諏訪2号線	道路改良	L=210m
瀬畑口・下根子線	道路改良	L=1,365m
花巻PAスマートインターチェンジ	施設整備	N=1カ所
山の神諏訪線（第1工区）	道路改良	L=860m
山の神諏訪線（第2工区）	道路改良	L=460m
中根子弐拾七樋田線	道路改良	L=260m
地森下沢田線	道路改良	L=168m
渋田北横断線	舗装新設	L=180m
中根子堂前東線	舗装新設	L=110m
瀬野2号線	舗装新設	L=225m
法領横断線	道路改良	L=180m
台屋敷2号線	道路改良	L=130m
二枚橋下通り線	道路改良	L=120m
金矢・上湯本線	舗装新設	L=200m
新花巻駅停車場線（西工区）	道路改良	L=650m
新花巻駅停車場線（東工区）	道路改良	L=640m
上下駒板線	道路改良	L=1,400m
高木団地地区側溝	道路改良	L=12,429m
小袋北横断線	道路改良	L=153m
安野西横断2号線	道路改良	L=355m
上台朝日橋線	道路改良	L=94m
下小路環状線	道路改良	L=140m
工沢・椚ノ目線（西工区）	道路改良	L=1,132m
工沢・二枚橋線	防雪柵	L=1,100m
下似内5号線外	道路改良	L=220m
三岳8号線	道路改良	L=200m
東宮野目西線	道路改良	L=290m
似内駅南2号線外	道路改良	L=180m
下坂井・関上場線	道路改良	L=430m
太田法定外道路	舗装新設	L=190m
姥宿月夜線	道路改良	L=2,250m
上栃内西1号線	舗装新設	L=210m

旧		
四日町・浅沢線	道路改良	L=64m
桜台西1号線	道路改良	L=236m
上町花城町線	道路改良	L=210m
里川口仲町線	道路改良	L=270m
若葉町南3号線	道路改良	L=90m
南万南4号線	道路改良	L=332m
石神町法定外道路	舗装新設	L=80m
中北万丁目西6号線外	舗装新設	L=262m
南万東縦断4号線	道路改良	L=73m
若葉町縦断2号線	道路改良	L=135m
諏訪2号線	道路改良	L=210m
瀬畑口・下根子線	道路改良	L=1,365m
花巻PAスマートインターチェンジ	施設整備	N=1カ所
山の神諏訪線（第1工区）	道路改良	L=860m
山の神諏訪線（第2工区）	道路改良	L=460m
中根子弐拾七樋田線	道路改良	L=260m
地森下沢田線	道路改良	L=168m
渋田北横断線	舗装新設	L=180m
中根子堂前東線	舗装新設	L=110m
瀬野2号線	舗装新設	L=225m
法領横断線	道路改良	L=180m
台屋敷2号線	道路改良	L=130m
二枚橋下通り線	道路改良	L=120m
金矢・上湯本線	舗装新設	L=200m
新花巻駅停車場線（西工区）	道路改良	L=650m
新花巻駅停車場線（東工区）	道路改良	L=640m
上下駒板線	道路改良	L=1,400m
高木団地地区側溝	道路改良	L=12,429m
小袋北横断線	道路改良	L=153m
安野西横断2号線	道路改良	L=355m
上台朝日橋線	道路改良	L=94m
下小路環状線	道路改良	L=140m
工沢・椚ノ目線（西工区）	道路改良	L=1,132m
工沢・二枚橋線	防雪柵	L=1,100m
下似内5号線外	道路改良	L=220m
三岳8号線	道路改良	L=200m
東宮野目西線	道路改良	L=290m
似内駅南2号線外	道路改良	L=180m
下坂井・関上場線	道路改良	L=430m
太田法定外道路	舗装新設	L=190m
姥宿月夜線	道路改良	L=2,250m
上栃内西1号線	舗装新設	L=210m

新		
槻田・片子沢線	道路改良	L=420m
白幡薬師堂線	道路改良	L=101m
好地20号線外	道路改良	L=420m
大瀬川線	道路改良	L=90m
好地63号線	舗装新設	L=80m
好地3号線	舗装新設	L=200m
高速道側道1号線	道路改良	L=300m
大瀬川36号線	舗装新設	L=420m
大興寺41号線外	舗装新設	L=250m
北寺林63号線	舗装新設	L=285m
寺林線	道路改良	L=3,240m
八幡塚根線	道路改良	L=105m
南寺林55号線外	舗装新設	L=370m
寺林線（南工区）	防雪柵	L=560m
三日堀中央線	舗装新設	L=400m
井戸向・滝田線	道路改良	L=285m
塚原線	道路改良	L=120m
殿屋敷中央線	舗装新設	L=800m
八重畑69号線	舗装新設	L=330m
八重畑幹線	道路改良	L=410m
沖田線	舗装新設	L=330m
公園2号線	道路改良	L=200m
公園線	道路改良	L=203m
鳥長根17号線	道路改良	L=180m
愛宕山公園線	道路改良	L=313m
大迫法定外道路	道路改良	L=140m
上裏線	道路改良	L=50m
黒沢矢柄線	道路改良	L=2,500m
小又線	道路改良	L=2,035m
久出内線	道路改良	L=750m
小又川2号線	道路改良	L=170m
狄川線	道路改良	L=1,700m
上沢線	道路改良	L=500m
八木巻線（第2工区）	道路改良	L=1,800m
亀ケ森1号線	道路改良	L=160m
前林松子林線外	道路改良	L=290m
小山田中央線	道路改良	L=2,230m
中居平線外	道路改良	L=590m
六本木10号線	舗装新設	L=340m
六本木15号線	道路改良	L=140m
手古内扇山線	道路改良	L=515m
竹中線	道路改良	L=1,170m

旧		
槻田・片子沢線	道路改良	L=420m
白幡薬師堂線	道路改良	L=101m
好地20号線外	道路改良	L=420m
大瀬川線	道路改良	L=90m
好地63号線	舗装新設	L=80m
好地3号線	舗装新設	L=200m
高速道側道1号線	道路改良	L=300m
大瀬川36号線	舗装新設	L=420m
大興寺41号線外	舗装新設	L=250m
北寺林63号線	舗装新設	L=285m
寺林線	道路改良	L=3,240m
八幡塚根線	道路改良	L=105m
南寺林55号線外	舗装新設	L=370m
寺林線（南工区）	防雪柵	L=560m
三日堀中央線	舗装新設	L=400m
井戸向・滝田線	道路改良	L=285m
塚原線	道路改良	L=120m
殿屋敷中央線	舗装新設	L=800m
八重畑69号線	舗装新設	L=330m
八重畑幹線	道路改良	L=410m
沖田線	舗装新設	L=330m
公園2号線	道路改良	L=200m
公園線	道路改良	L=203m
鳥長根17号線	道路改良	L=180m
愛宕山公園線	道路改良	L=313m
大迫法定外道路	道路改良	L=140m
上裏線	道路改良	L=50m
黒沢矢柄線	道路改良	L=2,500m
小又線	道路改良	L=2,035m
久出内線	道路改良	L=750m
小又川2号線	道路改良	L=170m
狄川線	道路改良	L=1,700m
上沢線	道路改良	L=500m
八木巻線（第2工区）	道路改良	L=1,800m
亀ケ森1号線	道路改良	L=160m
前林松子林線外	道路改良	L=290m
小山田中央線	道路改良	L=2,230m
中居平線外	道路改良	L=590m
六本木10号線	舗装新設	L=340m
六本木15号線	道路改良	L=140m
手古内扇山線	道路改良	L=515m
竹中線	道路改良	L=1,170m

新		
下丸内線外	道路改良	L=885m
妙見前線	道路改良	L=450m
後島線	道路改良	L=223m
雲南線外	道路改良	L=558m
小豆田線	道路改良	L=410m
舘迫落合線	道路改良	L=980m
砂子6号線	道路改良	L=287m
舘迫下道線	道路改良	L=358m
赤部線	道路改良	L=1,900m
野金山線	道路改良	L=765m
南住宅1号線外	道路改良	L=200m
石神町西南線	道路改良	L=130m
山の神東横断線	道路改良	L=320m
上町・成田線（法面防災）	法面工事	N=1カ所
産業団地内道路	道路改良	L=1,836m
山の神・諏訪線（南諏訪工区）	道路改良	L=620m
中村東線	舗装新設	L=170m
宇津野北縦断線	舗装新設	L=310m
槻ノ木・安野線外	舗装新設	L=620m
工沢2号線	道路改良	L=101m
森ノ越南5号線	舗装新設	L=400m
小在家西5号線外	道路改良	L=200m
轟木横断線外	道路改良	L=640m
島岡線外	道路改良	L=760m
新堀4号線外	舗装新設	L=300m
前郷1号線	舗装新設	L=250m
栄田線外	道路改良	L=1,110m
松園町西1号線	舗装新設	L=170m
南万南6号線	道路改良	L=133m
上根子中野4号線外	道路改良	L=340m
野合北湯口線	舗装新設	L=930m
太田地内法定外道路	道路改良	L=200m
板子線外	舗装新設	L=430m
旧大瀬川（1）線外	道路改良	L=2,070m
大興寺53号線外	舗装新設	L=390m
井戸向滝田線	橋梁	L=88m
八重畑幹線（避難路）	道路改良	L=900m
戸塚森森林公園線（避難路）	道路改良	L=900m
山根戸塚線（避難路）	道路改良	L=1,400m
新堀63号線	舗装新設	L=390m
鳥長根線	道路改良	L=80m
田面木線	道路改良	L=700m

旧		
下丸内線外	道路改良	L=885m
妙見前線	道路改良	L=450m
後島線	道路改良	L=223m
雲南線外	道路改良	L=558m
小豆田線	道路改良	L=410m
舘迫落合線	道路改良	L=980m
砂子6号線	道路改良	L=287m
舘迫下道線	道路改良	L=358m
赤部線	道路改良	L=1,900m
野金山線	道路改良	L=765m
南住宅1号線外	道路改良	L=200m
石神町西南線	道路改良	L=130m
山の神東横断線	道路改良	L=320m
上町・成田線（法面防災）	法面工事	N=1カ所
産業団地内道路	道路改良	L=1,836m
山の神・諏訪線（南諏訪工区）	道路改良	L=620m
中村東線	舗装新設	L=170m
宇津野北縦断線	舗装新設	L=310m
槻ノ木・安野線外	舗装新設	L=620m
工沢2号線	道路改良	L=101m
森ノ越南5号線	舗装新設	L=400m
小在家西5号線外	道路改良	L=200m
轟木横断線外	道路改良	L=640m
島岡線外	道路改良	L=760m
新堀4号線外	舗装新設	L=300m
前郷1号線	舗装新設	L=250m
栄田線外	道路改良	L=1,110m
松園町西1号線	舗装新設	L=170m
南万南6号線	道路改良	L=133m
上根子中野4号線外	道路改良	L=340m
野合北湯口線	舗装新設	L=930m
太田地内法定外道路	道路改良	L=200m
板子線外	舗装新設	L=430m
旧大瀬川（1）線外	道路改良	L=2,070m
大興寺53号線外	舗装新設	L=390m
井戸向滝田線	橋梁	L=88m
八重畑幹線（避難路）	道路改良	L=900m
戸塚森森林公園線（避難路）	道路改良	L=900m
山根戸塚線（避難路）	道路改良	L=1,400m
新堀63号線	舗装新設	L=390m
鳥長根線	道路改良	L=80m
田面木線	道路改良	L=700m

新			旧		
竪沢2号線	道路改良	L=500m	竪沢2号線	道路改良	L=500m
小原田4号線	舗装新設	L=300m	小原田4号線	舗装新設	L=300m
六本木4号線	舗装新設	L=108m	六本木4号線	舗装新設	L=108m
北成島法定外道路	舗装新設	L=150m	北成島法定外道路	舗装新設	L=150m
中内浮田線	道路改良	L=105m	中内浮田線	道路改良	L=105m
雲南2号線	舗装新設	L=300m	雲南2号線	舗装新設	L=300m
松園町下通り線	道路改良	L=50m	松園町下通り線	道路改良	L=50m
イギリス海岸桜花線	道路改良	L=380m	イギリス海岸桜花線	道路改良	L=380m
下川原東2号線	舗装新設	L=120m	下川原東2号線	舗装新設	L=120m
東裏上口線	道路改良	L=100m	東裏上口線	道路改良	L=100m
大瀬川9号線	舗装新設	L=350m	大瀬川9号線	舗装新設	L=350m
北寺林法定外道路	舗装新設	L=200m	北寺林法定外道路	舗装新設	L=200m
仲町西部線	道路改良	L=150m	仲町西部線	道路改良	L=150m
大槻環状線	道路改良	L=30m	大槻環状線	道路改良	L=30m
西線	舗装新設	L=500m	西線	舗装新設	L=500m
野田東3号線	道路改良	L=200m			
石神町中根子南線	道路改良	L=150m			
不動1号線	舗装新設	L=280m			
旧布観橋線	道路改良	L=170m			
下湯本・二枚橋1号線	道路改良	L=440m			
下似内西1号線	舗装新設	L=55m			
南笹間横断線	防雪柵	L=140m			
大興寺9号線	舗装新設	L=90m			
山口1号線	道路改良	L=150m			
安倭法定外道路	舗装新設	L=160m			
南山椛山線	道路改良	L=420m			
5-4①交通安全環境整備事業			5-4①交通安全環境整備事業		
四日町後川線	歩道整備	L=700m	四日町後川線	歩道整備	L=700m
城内大通り一丁目線（花城町工区）	歩道整備	L=380m	城内大通り一丁目線（花城町工区）	歩道整備	L=380m
城内大通り一丁目線（城内工区）	歩道整備	L=327m	城内大通り一丁目線（城内工区）	歩道整備	L=327m
城内大通り一丁目線（大通り工区）	歩道整備	L=260m	城内大通り一丁目線（大通り工区）	歩道整備	L=260m
城内大通り一丁目線（共同溝）	共同溝	L=320m	城内大通り一丁目線（共同溝）	共同溝	L=320m
上町花城町線（共同溝）	共同溝	L=210m	上町花城町線（共同溝）	共同溝	L=210m
吹張町滝ノ沢線	歩道整備	L=740m	吹張町滝ノ沢線	歩道整備	L=740m
吹張町滝ノ沢線（第2工区）	歩道整備	L=530m	吹張町滝ノ沢線（第2工区）	歩道整備	L=530m
藤沢・石神町公園線	歩道整備	L=90m	藤沢・石神町公園線	歩道整備	L=90m
上町成田線（南城工区）	歩道整備	L=570m	上町成田線（南城工区）	歩道整備	L=570m
上町成田線（桜町工区）	歩道整備	L=530m	上町成田線（桜町工区）	歩道整備	L=530m
上小舟渡方八丁線	歩道整備	L=1,920m	上小舟渡方八丁線	歩道整備	L=1,920m
工沢・椚ノ目線外	歩道整備	L=325m	工沢・椚ノ目線外	歩道整備	L=325m
太田公民館泉屋敷線	歩道整備	L=200m	太田公民館泉屋敷線	歩道整備	L=200m
上台・中野線	歩道整備	L=430m			

新		
5-4①幹線道路整備		
国道4号	拡幅整備	L=1,000m
主要地方道花巻大曲線	拡幅整備	L=2,380m
5-4①JR花巻駅東西自由通路等整備事業		
花巻駅周辺地区都市再生整備計画	歩行者専用道路整備	L=60m
6-1①農業水路等長寿命化・防災減災事業ハザードマップ作成花巻市地区		
湯本1号	ため池ハザードマップ	
組ため池	ため池ハザードマップ	
滝田1号	ため池ハザードマップ	
熊つつみ	ため池ハザードマップ	
戸塚1号	ため池ハザードマップ	
沢田堤	ため池ハザードマップ	
長八戸堤	ため池ハザードマップ	
一郎堤	ため池ハザードマップ	
矢沢4号	ため池ハザードマップ	
新地5号	ため池ハザードマップ	
安倭2号	ため池ハザードマップ	
矢沢7号	ため池ハザードマップ	
石鳥谷町富沢9号	ため池ハザードマップ	
石鳥谷町富沢11号	ため池ハザードマップ	
石鳥谷町新堀7号	ため池ハザードマップ	
6-1②農業水路等長寿命化・防災減災事業ため池廃止工事花巻市地区		
環ため池	ため池廃止	

旧		
5-4①幹線道路整備		
国道4号	拡幅整備	L=1,000m
主要地方道花巻大曲線	拡幅整備	L=2,380m
6-1①農業水路等長寿命化・防災減災事業ハザードマップ作成花巻市地区		
湯本1号	ため池ハザードマップ	
組ため池	ため池ハザードマップ	
滝田1号	ため池ハザードマップ	
熊つつみ	ため池ハザードマップ	
戸塚1号	ため池ハザードマップ	
沢田堤	ため池ハザードマップ	
長八戸堤	ため池ハザードマップ	
一郎堤	ため池ハザードマップ	
矢沢4号	ため池ハザードマップ	
新地5号	ため池ハザードマップ	
安倭2号	ため池ハザードマップ	
矢沢7号	ため池ハザードマップ	
石鳥谷町富沢9号	ため池ハザードマップ	
石鳥谷町富沢11号	ため池ハザードマップ	
石鳥谷町新堀7号	ため池ハザードマップ	
6-1②農業水路等長寿命化・防災減災事業ため池廃止工事花巻市地区		
環ため池	ため池廃止	